

を再編へ

に2社を合併
M
Sの子会社で、BPO
(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)や人材派遣を主業務とするAISと、キャンソンMJの完全子会社でサーバーネットワークのサポートサ

ービスを行っているソリューションサービスユナイテッドの2社を合併する。AISが、ソリューションサービスの権利義務のすべてを承継し、合併後の社名を「キャンソンビズアテンダ株」に変更する。社長にはAISの清

水雄一社長が就任し、従業員数は約480名となる。資本金は1億円で、株主構成はキャンソンITが87.5%、野村総合研究所が12.5%となっている。

また、リコー製品を展示する「プリンテック・イノベーション・センター」内に「プレス・センター」を展示して提案やデモなどを行うほか、リコーのプリンター「リコー・プロC900」とVPJの「プレス・センター」の技術連携や導入・サポートについても共同で展開していく。

の物理サーバーに複数のERP環境を構築できる仮想化ソリューションを提供する。住商情報は、日本オラクルとオラクルVMについて、同社は、オラクルVMのベースとなっ

ている、オープンソースの仮想化技術「Xen」を使った仮想化システムについての豊富な導入実績を持っており、このノウハウをオラクルVMに活用し拡張していく。

中国大連市にサービス子会社を設立
JBOCHD
JBCCホールディングスは、中国の大連市にITサービス子会社「捷報(大連) 信息技术有限公司(JBCN)」を設立

した。資本金は3千万円、従業員は6名、代表者の董事長には同社の理事で中国ビジネス担当の小祝薫氏が就任した。主な事業は、ITシステム・ITサービスの提供、アウトソーシングサービスの受託、アプリケーションソフトの開発、パッケージソフトやコンピュータ関連機器、ネットワーク技術の研究・開発などで、将来は北京、上海、天津などへの進出も視野に入れて事業展開を図るとしている。

ーション1.0」を公開するとともに、サポートサービスも開始した。サービス内容は、電話とメール、Webによるヘルプデスク、定期レポート、障害調査支援と、SKIPP導入時のシステム構築代行、カスタマイズ開発支援となっている。

リコーとビジュアル・プロセッシング・シヤパン(VPJ)は、多品種・少ロットの印刷に対応するプロダクション印刷市場に向けたWebツール・プリントソリューションの提供で協業した。

リコーは、顧客のワークフローを最適化するトータルプリンティングソリューションを紹介する一環として、VPJのWebツールプリント・パッケージ・システム「プレス・センター」の提案・販売を行う。

システムプラットフォームには日本テラデータが提供する大規模MPP(並列処理)サーバー「テラデータ5500」を、データベースには同じく日本テラデータの金融機関向け論理データモデル「FSLDM」をそれぞれ採用した。

ブログ検索を刷新

オープンソース採用で

ニフティ

ニフティは、法人向けブログ評判分析サービス「ビス・シーカー」のコア機能となるブログ検索エンジンを、オープンソースの全文検索サーバー「アパッチ・ソーラ」を採用して構築した。

アパッチ・ソーラは、アパッチLucene・Java検索ライブラリをベースとしたエンタープライズ向けの全文検索サーバーで、新エンジンの高速処理により、国内最大規模のブログ検索システムを実現した。今回の構築を手掛けたキーウォーカーの真瀬正義社長は、「国内でオープンソースによる大規模検索システムを構築した事例は少ない」としており、さらにアパッチ・ソーラの特徴を生かすことで、「当社比の3分の1程度の工数で導入でき」としている。

ATMデータの管理システムを構築
セブン銀行
セブン銀行は、ATM処理サーバなどを一元的に管理する管理会計システムを構築した。年間約5億件の処理データが発生する約1万3千台のATMを中心とした、複数のシステムに分散するデータを一元的に管理・分析し、戦略立案に役立てることを目的に構築したもので、野村総合研究所(NRI)が約6カ月で構築、10月から稼働を開始している。

機構改革・人事
日本オラクル
▼常務執行役員 石積尚幸
▼執行役員 岩田健一(12月1日)
▼退任(取締役執行役員 副社長)東裕(12月31日)

TDCSOFT

日本情報産業新聞(WEEKLY)
2008/12/15 1985号

ID GROUP

つたえること。
つながること。
まんなかに情報があります。
一緒に、幸せな未来へ。